



報道関係者各位

2010年2月8日
在日ドイツ商工会議所

ドイツ・イノベーション・アワード 「ゴットフリード・ワグネル賞2009」授賞式を開催 日独の国際的産学連携ネットワークの強化を目指して

- ▶ 一等賞の独立行政法人 物質・材料研究機構の木村勇次氏 (41歳)をはじめ、受賞者4名を発表
- ▶ 在日ドイツ商工会議所とドイツ企業12社の共同プロジェクトにより日本の若手研究者を支援
- ▶ 2007年ノーベル物理学賞受賞/第23回日本国際賞受賞ペーター・グリュンベルク教授が記念講演

1/2

在日ドイツ商工会議所(代表:マンフレッド・ホフマン、東京都千代田区)は、技術革新を重視するドイツ企業12社とともに、日本の大学・研究機関に所属する若手研究者の支援を目的として「ドイツ・イノベーション・アワード」を昨年度に創設しました。それにともない本日「ゴットフリード・ワグネル賞2009」授賞式を開催し、第二回受賞者4名を発表しました。

一等賞は、低温で強く壊れにくい鋼の開発の研究を行った独立行政法人 物質・材料研究機構の主幹研究員木村勇次氏(41)に授与されました。同氏には賞金400万円が贈呈され、副賞として最長2か月間にわたるドイツの研究機関・大学での研究活動のための助成金が授与されます。

授賞式は2月8日(月)17時半からグランドハイアット東京で開催されました。来賓として2007年ノーベル物理学賞受賞/第23回日本国際賞受賞のドイツ人物理学者ペーター・グリュンベルク教授が招かれ、記念講演が行われました。

今回は全国34の大学・研究機関から63件の応募がありました。審査対象は、環境・エネルギー、健康・医療、安心・安全の3つの分野から、現在進行中の研究または過去2年以内に完了した研究成果です。応用研究分野には自動車・輸送機器、化学品・素材、エレクトロニクス・フォトニクス、医療機器・診断技術、バイオテクノロジー・医薬品、ものづくり・製造プロセス・機械、エネルギー、都市基盤整備・建設分野などが該当します。

審査は共催企業の技術専門家による予備審査を経て、相澤益男氏(内閣府総合科学技術会議議員、東京工業大学・元学長)を委員長とする常任委員と専門委員により構成される選考委員会において、最終選考及び受賞者の選定が行われました。

当賞はドイツ連邦教育研究省後援のもと、在日ドイツ商工会議所と日本に拠点のあるドイツ企業12社の共同プロジェクトとして昨年度に創設され、日独間の科学技術協力および国際的産学連携を促すことを目指しています。実際昨年度の第一回受賞者は副賞のドイツ留学を実現するなどし、既に日独の関係強化に大きな役割を果たしています。今年度は世界的な経済危機に見舞われましたが、そのようなときにこそイノベーションの創出に向けて科学技術を推進することが重要と考え、本日第二回授賞式を行う運びとなりました。なお、賞の正式名称「ゴットフリード・ワグネル賞」は、日本で活躍したドイツ人科学者ゴットフリード・ワグネル氏にちなんで名付けられました。

お問い合わせ

102-0075 東京都千代田区三番町2-4
三番町KSビル5F 在日ドイツ商工会議所内
ドイツ・イノベーション・アワード事務局

Tel: 03-5276-8827

E-mail: info@german-innovation-award.jp

公式ホームページ: www.german-innovation-award.jp



2010年2月8日
在日ドイツ商工会議所

2/2

「ゴットフリード・ワグネル賞2009」受賞者詳細

一等賞 (賞金400万円)

「低温で強くて壊れにくい鋼の開発」

木村 勇次 (きむら ゆうじ) 41歳
独立行政法人 物質・材料研究機構 新構造材料センター 主幹研究員
チームメンバー:
井上 忠信 (いのうえ ただのぶ) 41歳
独立行政法人 物質・材料研究機構 材料信頼性萌芽ラボ 主幹研究員
殷 福星 (いん ふくせい) 44歳
独立行政法人 物質・材料研究機構 材料信頼性萌芽ラボ 主席研究員

二等賞 (賞金200万円)

「三次元積層型集積回路のための自己組織化チップ実装技術に関する研究」

福島 誉史 (ふくしま たかふみ) 34歳
東北大学 大学院 工学研究科 バイオロボティクス専攻 助教

三等賞 (賞金100万円)

「生分解性バイオポリエステルの高性能化」

岩田 忠久 (いわた ただひさ) 43歳
東京大学 大学院 農学生命科学研究科 高分子材料学研究室 准教授

「Claudin binder を利用した粘膜ワクチンの開発」

近藤 昌夫 (こんどう ますお) 40歳
大阪大学 大学院 薬学研究科 生体機能分子化学分野 准教授

※受賞者全員に副賞としてドイツ学術交流会 (DAAD) の協力により、最長2か月間のドイツ研究機関または大学での研究活動のための助成金が授与されます。

選考委員会 (敬称略)

委員長:
相澤 益男 内閣府総合科学技術会議 議員、東京工業大学 元学長
常任委員 (五十音順):
岸 輝雄 独立行政法人 物質・材料研究機構 前理事長
白井 克彦 早稲田大学 総長
濱田 純一 東京大学 総長
ハンス=イヨルグ・プリンガー フラウンホーファー研究機構 理事長
松本 紘 京都大学 総長

主催

在日ドイツ商工会議所

共催企業 (アルファベット順)

BASFジャパン株式会社、バイエル ホールディング株式会社、ボッシュ株式会社、
エボニック デグサ ジャパン株式会社、ヘンケルジャパン株式会社、メルセデス・ベンツ日本株式会社、
メルク株式会社、ミュンヘン再保険会社、ショット日本株式会社、シーメンス株式会社、
トルンプ株式会社、テュフ ラインランド ジャパン株式会社